

平塚西ロータリークラブ 週報

会 長 近藤 直樹
幹 事 石井 翼
エレクト 寺島 理恵
週報担当 石井 義剛

創 立 1976年6月23日
例会日 月3回水曜日 12:30より
例会場 カルチャーボンス平塚
平塚市平塚 5-32-12
TEL 0463-34-9911

事務局
〒254-0045 平塚市見附町 32-7
TEL 0463-33-1475
FAX 0463-33-8676
E-Mail : office@hiratsuka-w-rc.jp

第2240回 2025年2月26日(水)☀

出席報告	総会員数	計算対象数	出席会員数	今回出席率	メイクアップ	修正出席率
	25名	23名	18名	78.26%	0名	2/5 69.56%

◆ 会長挨拶 ◆

皆様こんにちは、本日は2月の第3例会です。山田会員からロータリーボイスに投稿された貴重な体験談のご連絡を戴きました。元ロータリー平和フェローの金子由香さんと井上悦子さんの投稿です。限られた時間ですので金子由香さんの投稿を報告できればと思います。

【寄稿者プロフィール】金子 由佳 (かねこ ゆか)
セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでガザ事業を担当。その傍ら、立教大学でパレスチナ問題について教鞭を執る。熊谷東ロータリー(第2570地区)の推薦でロータリー平和フェローとして2010年～2011年にオーストラリアのクイーンズランド大学に留学し、国際政治学の修士号を取得。卒業して10年以上経つ現在も、世界各地にいる。同期のフェローたちと連絡を取り合い、公私ともに親交を続けている。

【分断ではなく平和の連鎖を】

投稿日: 1月27, 2025 投稿者: Rotary Japan"
～パレスチナ支援に長年携わる平和フェローがガザの現状と平和について綴る～

私はロータリー平和フェローとして、2010年～2011年にクイーンズランド大学(オーストラリア)の大学院国際政治学部で平和・紛争解決コースに参加しました。フェローシップ(全額支給の奨学金)を通じて、大学での授業はもちろん、実地体験(AFE)として3カ月にわたる国際組織でのインターン、平和学に資するスタディーツアー、学会発表への参加、受入国オーストラリアでの多様な人びととの交流など、平和を学ぶために有益な機会をたくさんいただきました。AFEでは、前職の同僚を頼ってアフリカのシエラレオネ・カンビア県で行われていたJICAの地域開発事業でインターンとして3カ月滞在しました。また、スタディーツアーではパレスチナのヨルダン川"西岸地区に1カ月間、現地NGOのボランティアとして参加しました。

卒業後は特に、パレスチナでのボランティア活動での経験をもとに仕事を探し、2012年から2017年には、日本国際ボランティアセンター(JVC)と言う国際協力NGOでパレスチナに赴任、ガザ地区で母子の栄養改善事業に携わりました。この5年間でガザ地区を頻りに訪れ、横浜のロータリークラブの皆さんと、グローバル補助金を使った母子保健事業も実施しました。2018年からは日本赤十字社などで働きながら、パレスチナの支援を続け、今は国際NGO、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでガザ地区の緊急支援、生計向上支援の担当をしています。その傍ら、立教大学で2019年から「パレスチナ問題の歴史と現在」という授業を担当し、パレスチナ問題を通じて国際政治や宗教問題、紛争問題を考える機会を若い人たちに提供しています。ガザでの悲惨な現状、パレスチナ・ガザ地区では、ご存じの通り2023年10月から大規模な空爆が行われ、先日停戦合意に至ったものの、4万7千人以上の市民が犠牲になりました。うち7割は子どもと女性と言われ、四肢を失うなどの大きな障害を負った子どもも6千人に上ると見られています。また民家の9割は破壊され、今後の復興に途方もない年月と費用がかかる見込みです。

破壊されたガザ北部の友人宅、私が一緒に働くガザ現地のスタッフの多くも家を失い、友達も家を失いました。空爆中は何度も避難を繰り返し、今は家とも呼べないようなところで、まともな食事もとれず、避難生活を余儀なくされています。ガザの冬はみぞれが降るほど寒いのですが、医療施設も甚大な被害を受けており、関連死も増え続けています。とりあえず停戦になりましたが、これからどうすればいいのか、皆が途方に暮れています。また、65万人いると言われる学生(小学生や中学生含む)も、この間一切学校に行けていません。教育が止まり、思い出ごとく町が壊され、友人や家族が無残に殺される様子を400日以上見続けたガザの子どもたちの心に、世界はどう見えていたのでしょうか。パレスチナは、紛争の代名詞ともいえるほどよく耳にする名前だと

と思いますが、この問題は今年で 77 年を迎えています。そして、ガザへのこうした大規模空爆は、何度も起きています。市民のつながりこそが大事。よく、大学の生徒から「暴力の連鎖を断ち切るにはどうしたらよいですか？」という質問を受けます。そのような時、私は、非常に単純ですが、「暴力とは逆の連鎖を作ること、つまり平和の連鎖を作ることが大切ではないか」と伝えています。具体的には、武器を作らない、持たない、持たせないことがまず大事です。そして暴力以外の道で、交渉を行うこと、人びとの生活をよくするためにお金を投資すること、利益を独占しないこと、などが大切です。人が豊かになり、公平になれば、不満は減ります。しかし昨今は、人びとの不満を煽（あお）り、仮想敵のイメージを増幅し、市民同士のつながりを分断するような動きが増えています。確かに、気候変動問題などを考えると、将来は不安要素に満ちています。近隣諸国の動きも気になるところです。しかし、ここで分断をストップし、互いに歩み寄らなければ、人類が、多大な犠牲を払って築いてきた人道・人権という概念や、平和や人間の安全保障というシステムを、自ら捨てることとなります。これから厳しい時代になりますが、粘り強く平和をあきらめないことがカギとなります。分断される社会の中で、どうしたら人びとの連帯と慈愛の気持ちを増やせるのか。平和の連鎖を作るには、ロータリーの皆さんや、NGO が実践する市民同士のつながりが大切になってくると思います。以上でございますが井上悦子さんの投稿はメールにて展開させて戴きますので、ぜひご一読お願い致します。以上会長の挨拶とさせていただきます。



◆ ゲスト卓話 ◆



米山奨学生 ダスティン・チャンドラさん

自己紹介

名前： ダスティン グアレ ティノ チャンドラ	出身： インドネシア	家族： 父と母、兄弟二人
-------------------------------	---------------	-----------------



◆ ゲスト ◆



元米山奨学生 トウメン・ノミンさん



◆ 幹事報告 ◆

●第 2780 地区より●

*特にありません

◆ 受理 ◆

*ロータリーの友

◆ スマイル ◆

◆久保田智子様◆

トゥメン・ノミンさんが西ロータリークラブの奨学生になりカウンセラーとしてお会いするようになってから早や8年が経ちました。大学も優秀な成績で、初志貫徹、大学院に進みましたが、コロナ禍で大変な月日を送りました。持ち前の明るさと溢れる才能で名門、清水建設の社員としてしっかり歩んでいられます。私たちの太陽としてこれからも輝いてください。

◆近藤会長◆

花粉凄いですね。また辛い日々が増えそうです。チャンドラさん、ノミンさん、久保田智子様、本日はようこそお越しくございました。チャンドラさん卓話宜しく申し上げます。小網さん、お誕生日おめでとうございます。

◆山田会員◆

ノミンさんお久しぶりです。良くお出で下さいました。

久保田智子様、お越しいただきありがとうございます。

ダスティンさん本日卓話宜しく申し上げます。

◆成田会員◆

ダスティン・チャンドラさんようこそお越しくございました。本日の卓話宜しく申し上げます。

◆石井(義)会員◆

小網会員、お誕生日おめでとうございます。ダスティン・チャンドラさん卓話楽しみにしています。

寒暖差が激しい日が続きます。体力を付け、気を付けましょう。

◆小玉会員・大畑会員・久保田会員・荒井会員・菊池会員・佐藤会員・石井(翼)会員◆

ダスティン・チャンドラさん卓話本日の卓話、宜しくお願いします。

トゥメン・ノミンさん、お久しぶりです！来週から海外転勤ですね。身体に気をつけて頑張ってください。

久保田智子様ようこそお越しくございました。

◆ 本日の食事 ◆



◆ 次回例会 ◆

3月5日(水)

平塚市 国際交流員
ジユギーテ・サウレ様